D EPODOC / EPO

PN - JP58002545 A 19830108

PD - 1983-01-08

PR - JP19810099330 19810626

OPD - 1981-06-26

TI

- REMOTELY-CONTROLLED VOCALIZATION APPARATUS FOR AIR CONDITIONER

IN - SUGIYAMA HAJIME; KOBAYASHI TOYOHIRO

PA - MITSUBISHI ELECTRIC CORP

ICO - R24F209/26 EC - F24F11/00

IC - F24F11/02; G09F27/00

© PAJ /JPO

PN - JP58002545 A 19830108

PD - 1983-01-08

AP - JP19810099330 19810626 IN - SUGIYAMA HAJIME; others: 01

PA - MITSUBISHI DENKI KK

TI - REMOTELY-CONTROLLED VOCALIZATION APPARATUS FOR AIRCONDITIONER

AB - PURPOSE:To improve performance of an air conditioner, by employing such an arrangement that operational conditions of the air conditioner and the detected room temperature are responded vocally when an operation signal is transmitted from a remote control means to the air conditioner.

- CONSTITUTION:An operation signal 2 of an air conditioner is transmitted from a remove control means 1 to a receiver 3, and a control means 4 controls and displays the operational conditions of the air conditioner on the basis of control signals given from the receiver 3 and a room-temperature detecting circuit section 9. At the same time, the control means 4 sends information 7 also to a vocalization control means 5, in which voices to be given is selected and synthesized. The voices thus selected and synthesized are sent to an amplifier 6 and then given actually at an audible level.
- F24F11/02 ;G09F27/00

1

¹⁹ 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩ 公開特許公報(A)

昭58—2545

(5) Int. Cl. 3 F 24 F 11/02 G 09 F 27/00 識別記号

庁内整理番号 7914-3L 6865-5C

@公開 昭和58年(1983)1月8日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 2 頁)

❷空調機の遠隔操作音声発声装置

20特

顧 昭56-99330

❷出

額 昭56(1981)6月26日

⑩発 明 者 杉山肇

静岡市小鹿三丁目18番1号菱電 エンジニアリング株式会社名古 屋事業所静岡支所内 ⑩発 明 者 小林豊博

静岡市小鹿三丁目18番1号三菱· 電機株式会社静岡製作所內

⑪出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

仰代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

明料書

1 発明の名称

空調機の遠隔操作音声発角装置

2 特許請求の範囲

赤外級等の空中皮の送信で運転を透隔制御するリモコンを備えた空調機において、前配空中皮の受信手段と、室温検知手段を有し、前配速隔制御リモコンからの空中皮信号により、制御内容と室温検知値を音声で応答する手段を有することを特徴とする空調機の透隔操作音声発生

a 発明の詳細な説明

この発明は、空調機の速隔操作信号に制御内容と室風検知値を音声で応答する装置に関する ものである。

従来、空調機の遠隔操作とは、空調機本体より離れて、本体の状態が現在どのようになっているかを調べ、別の状態になるように操作する。ところが現在の状態は空調機本体の表示等を見て知るようになっているために遠くからでは、

表示器が光っているのが見えるだけでその表示 の意味を表わす表示器に添えられている文字等 は既めないことが多く、表示器の意味する状態 が豊富になってきた今日の空縄級では、それら を覚えるのもたいへんである。

との発明は、上記のようを欠点を除去し、空 調機の操作性を改善したものである。

つまり、遠隔操作表性より空調機本体へ操作 信号が発せられた時、本体の状態と室風の検知 値を音声で応答することを目的としたものであ

以下との発明の一実施例について図によって説明する。第1図にこの発明の一実施例を示すフロック図である。(1)に空調機の逮職操作装置であり、これから操作信号(2)が受信装置(3)へ送信される。その後に、空調機の制御要置(4)があり、空調機のコンプレッサ(1)等を制御する。又、制御要置(4)には、入力として、前配受信装置(3)とサーミスターのを入力とした室温検知回路部(9)が、出

特開昭58-2545(2)

訴えることができ、非常に効果大なねものがあ る。

統されており、それは、制御装置(1)からの情報信号(1)を受け取り、その信号に従った音声が制御装置(4)に接続された増幅器及びスピーカ(6)より発声されるよう接続される。又制御装置(4)には、表示装置(8)も接続されており、空調機の状態表示もされる。

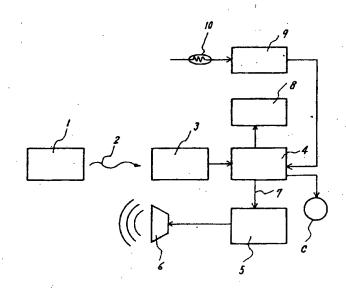
このように構成された、空調機の遠隔操作音声発度の作用について説明する。空間機の操作信号(2) [江遠隔操作装度(1) より受信装度(3) に向けて送信される。制御装度(4) は、受信装度(3) 及び室風検知回路部(9) からその制御信号を受け、空調機の制御及び表示を行う。又、音声発声制御装置(5) へも、情報信号(7) を送る。これを受けた音声制御装置は、発声すべき音声を操択、合成して増幅器(6) へと送られ、発声する。

この 免明 口以上に述べたように、空調後の状態を表示器で表示させるだけでなく、 音声で発声する手段を有したもので、遠隔 操作装置が使用される状況を考えてみた場合、表示が見えても、 それが 尖寸意味がわかりにくい時、 聴覚に

4. 図面の簡単な説明

第二 図にこの発明による空調機の速隔操作者 声発声装置を示すブロック図である。

代理人 葛野信一



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.